



2026年が幕を開けてから早くもひと月が過ぎ、今年度も残すところ2か月を切りました。あっという間に過ぎていく3学期ですが、1年の中で最も重みのある学期ととらえています。4月からの1年をふり振り返り自分の成長を実感するとともに、新しい学年を意識し、どのような自分をめざすのかを考える学期だからです。子どもたちがこの重みを意識しながら学校生活を送ることができるよう、教育活動を進めていきたいと思います。

さて、先月の8日(木)に3学期の始業式を行いました。体育館が冷たい空気に包まれていたこともあってか、子どもたちは引き締まった表情で式に臨んでいました。その中で、今年の干支である「午年」のもつ意味を紹介しながら、次のような話をしました。

『今年の干支は「午」です。馬は、走るのが速くて力強い動物です。そのことから、午年には、「勢いがある、いろいろなことがうまく進んでいく」という意味があるそうです。また、馬は昔から人を助けてくれる賢くて優しい動物です。そこから、「みんなが優しく、仲良く過ごせますように」という意味も込められているそうです。これらのことから、皆さんにとって、目標に向かってうまく進んでいく、そして、友だちに優しくできる、友だちと仲良く過ごせる1年になるといいですね。』

新しい年、そして節目の3学期。午年の意味にもあるように、順調に成長を重ねる子どもたちの姿をたくさん目にすることができたら嬉しいです。



むかしから つたわるあそびを たのしもう

1年生の生活科の学習「むかしから つたわるあそびを たのしもう」。昔から今に伝わる様々な遊びを体験する中で、地域の方と関わったりふれ合ったりすることのよさに気づくことを学習のねらいとしています。

1月16日(金)に、「昔遊び名人会」の方16名、「二宮小ボランティア」の方7名の方に来校いただき、昔から伝わる8つの遊びについて教えていただきました。

教えていただいた遊びは、「けん玉」「おはじき」「おりがみ」「わりばしでっぼう」「こま」「かみとんぼ」「おてだま」「あやとり」です。

1年生の子どもたちは、8つのブースを回りながら、折り紙など作品の作り方や遊び方のコツ、遊ぶ時のルールなどを教えていただいた後、大人の人と一緒にそれぞれの遊びに挑戦しました。

なかなかコツがつかめず難しい遊びもありましたが、子どもたちは何度も何度も挑戦していました。その中で、けん玉ができた子、こまが回せた子、かみとんぼを飛ばせた子、わりばしでっぼうで的の紙コップを倒すことができた子たちは、とてもうれしそうな表情をしていました。中には、手をたたいて喜んでいる子や、友だちや先生にうまくできたことを伝えている子もいました。

今は、室内で一人で遊ぶことが多いかもしれませんが、しかし、この学習を通して、体を使って遊ぶことのおもしろさ、手作りの遊びのおもしろさ、友達と一緒に遊ぶことのおもしろさを知り、また、地域の方とふれ合うことのよさ、楽しさを感じたことと思います。



にのっこウォークラリー

1月20日(火)、児童委員会の子どもたちが中心となって企画・運営した「にのっこウォークラリー」が行われました。このウォークラリーは毎年行われ、二宮小学校の伝統になりつつあります。

今年のウォークラリーでは、新たな取組を2つ行いました。一つは、これまで教職員が行っていた各ポイントのクイズやゲームの進行を6年生が担ったこと、もう一つは、6年生に代わり5年生が中心と

なって班の仲間をまとめたことです。

さて迎えた当日。1年生から5年生が参加した開会式で、全校みんなで決めた今年のスローガン「助け合い 絆深める 笑顔たくさん」が5年生の児童委員から発表されました。

その後、各ポイントに向けて、みんな笑顔で出発しました。これからどんなポイントが待ち受けているのか、そのことを考え、ワクワクしていたのだと思います。

校舎内に用意されたポイントは、「風船バレー」「宝さがし」「にの小クイズ」「記憶力ゲーム」など全部で25。班のみんなで協力しながらそれらに挑戦します。それぞれのポイントでは、6年生がわかりやすくルールや遊び方の説明をし、下級生に楽しい時間を過ごしてもらおうと気持ちのよい進行を心がけていました。また、班のリーダーとなった5年生は、下級生の様子を見守ったり、励ましの言葉をかけたり、勇気づけたりと、頼もしい姿を見せてくれました。



また、今年もポイントの1つとして、「二宮小ボランティア」の方々、「にのみやいいな&ぼうさいクイズ」のブースを出してくださいました。「吾妻山」「相模湾」「葛川」など、みんなに親しまれている場所を防災の視点からクイズにしたものです。子どもたちは、班のみんなと悩みながら、また協力しながら答えを出していました。



この「にのっこウォークラリー」で見られたれた、学年の異なる子どもたちと、「助け合う」、「協力し合う」、「励まし合う」、「仲良くする」などのすてきな姿が、日常生活のあちらこちらで見られるようになることを願っています。

にの小チャンピオン

今年度2回目となる二宮小学校伝統の「にの小チャンピオン」が、3日間にわたって行われています。今回は、学年ごとのクラス対抗「ミニダルマリレー(低学年)&ダルマ運びリレー(中学年・高学年)」です。前回と同様に今回も、体育委員会の子どもたちが中心となって企画・運営をし、当日の準備、進行、審判、記録、表彰も行います。

先月、中学年の部の「ダルマ運びリレー」が行われ、熱戦&熱い応援が繰り広げられました。ダルマを落とさないように慎重に確実に運ぶグループ、みんなで声をかけながらリズムよく運ぶグループ、多少の危険を冒しながらもスピードを重視するグループなど、様々な作戦が見られ、実に見ごたえがありました。



今月に行われる低学年と高学年の部の熱戦にも期待しています。

新年の決意新たに

新年の決意を新たに、今年も全学年で書き初めの学習をしました。書き初めとは、年が明けてから初めて毛筆で文字を書くことで、1年間の目標や抱負を書き、「行動を新たにする」という意味や、「字の上達を願う」という意味があります。そのような思いや願いを心に抱きつつ、子どもたちは一文字一文字でいねいに書きました。



1年生と2年生は書写の教科書の文章をていねいにペンで書くことを書き初めとしました。そして、3年生は「友だち」、4年生は「明るい心」、5年生は「新しい風」、6年生は「将来の夢」もしくは「進む勇氣」を、それぞれ毛筆で書きました。

静まり返った教室、あるいは体育館で、真っ白な紙に真剣に文字を書く。どの子も、今年に対する自分の思いや願いを心に刻んでいたことでしょう。これからも大切にしたい学習の一つです。